

(様式3)

5 今年度の重点課題 (学校アクションプラン)

平成30年度 南砺平高等学校アクションプラン - 1 -		
重点項目	学習活動	
重点課題	学習に取り組む態度の育成および教師の指導力の向上	
現状	<ul style="list-style-type: none">・基礎学力が不足しているため、教科内容の習得に時間がかかる生徒がいる。・学習する目的が明確でなく、課題への取り組み・提出に問題がある生徒がいる。・家庭での学習時間が不足し、十分な態勢で授業や考査に臨んでいない生徒もいる。・教員の年齢層が大きく2つに分かれており、両者について授業における指導力の向上が必要である。	
達成目標	①学習時間の確保 ・生徒の1週間あたりの家庭学習時間 (家庭学習には放課後に自主的に行う学習も含む)	②教師の授業における指導力の向上 ・教科に関する研修会、講習会等への参加
	・各学年平均600分以上	・教員一人平均3回以上
方策	<ul style="list-style-type: none">・生徒が取り組みやすい課題内容を検討し、家庭で学習する習慣を身に付けさせる。・学習・生活実態調査を通年実施し、指導・助言を行う。・調査結果を考査ごとに共有し、意識付けを図る。	<ul style="list-style-type: none">・外部機関や他校からの研修会の情報を提供し、積極的に参加するように働きかける。・年に2回互見授業を行い、資質の向上を図る機会とする。・教科ごとの打ち合わせをこまめに行い、生徒や教材に関する情報を共有する。

平成30年度 南砺平高等学校アクションプラン - 2 -

平成30年度 南砺平高等学校アクションプラン - 2 -		
重点項目	学校生活	
重点課題	安全な学校生活と保健室の利用の仕方について	
現状	<ul style="list-style-type: none">・通学路である国道304号線は大型車やスピードが速い車両が多く、地域がら見通しの悪いカーブもあり登下校時は危険である。・自転車や徒歩による登下校時の交通ルールに対して、安易な行動が時々見受けられる。・学校付近に世界遺産があるため観光客も多く、見知らぬ人から声をかけられる可能性が高い。・周囲には商店や高校生が利用できる施設等も少なく、スマホや携帯といった通信機器に依存し、トラブル等に巻き込まれやすい環境である。・生徒数が少ないことにより、人間関係が深いものとなりやすく、ささいなことから人間関係トラブルやいじめにつながる恐れがある。・昨年度の安全実態調査(3学期)によると、学校に相談する人がいないと答えた生徒が全体の16%(70名中11名、どちらともいえないも含む)であった。・定期健康診断後、治療を要する結果であるにもかかわらず未受診のままの生徒が多い。自身の健康意識を高める必要がある。	
達成目標	①安全な学校生活を送る	②歯科検診の結果から、受診を勧める
	<ul style="list-style-type: none">・交通ルールの遵守95%以上・通信機器の安全な利用についての意識付け95%以上・学校に相談相手がいると答えられる生徒95%以上	・歯科受診報告書の提出 70%以上
方策	<ul style="list-style-type: none">・さわやか運動や登校指導を利用し、交通ルールへの意識を高める。・通信機器によるネットトラブルを予防するために、講習会等を実施して啓発する。・教職員が日頃の声かけや毎学期の面接により生徒が悩みを訴えやすい雰囲気作りに努める。・集会やST、HRを利用し、何かあった場合の対応策について周知を図る。	<ul style="list-style-type: none">・保健だよりで歯科疾患の予防や心身の健康を保持する具体的な取り組みを発信するなど、日頃から自己の健康について関心を高め、自主的に健康管理ができるように啓発する。・STやHR、生徒厚生委員会の活動を通して、治療を放置した場合に起こる疾患や症状を説明し、受診への自覚を促す。

(評価基準 A:達成した B:ほぼ達成した C:現状維持 D:現状より悪くなった)

平成30年度 南砺平高等学校アクションプラン - 3 -

重点項目	進路支援	
重点課題	進路意識の高揚および生徒個々の希望進路に応じた力の育成	
現 状	<ul style="list-style-type: none"> ・進路先が大学から就職まで多様で、学力差も大きく、十分な対応ができていない所もある。 ・社会情勢に疎い生徒が多く、毎日ニュースを見る生徒は50%程である。 ・外部模試は、年間3回受験させているが、検定試験は余り実施されていない。今年は、外部模試を3回、検定試験を4回の計7回実施する予定である。 	
達成目標	①毎日ニュースを見る生徒の割合	②検定や外部模試の希望者受験(5回)について (a)5回中、1回以上受験する生徒の割合 (b)5回中、2回以上受験する生徒の割合
	70%以上	(a)90%以上 (b)50%以上
方 策	<ul style="list-style-type: none"> ・新聞を読みやすい環境作りに努める。 ・長期休業中にニュースを見る課題を出したり、朝学習で新聞に関する課題を与えたりする。 ・ネットニュースも可とするが、見出しだけでなく記事まで読むように指導する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今年から外部模試と検定(漢字、数学、英語)試験を合わせて7回実施する予定である。7回中、2回は全員受験であるが、5回は希望者受験である。積極的に受験を促し、全員が何らかの資格を持って卒業することを目標にがんばらせた。

平成30年度 南砺平高等学校アクションプラン - 4 -

重点項目	特別活動	
重点課題	特別活動の充実および読書習慣の定着	
現 状	<ul style="list-style-type: none"> ・小中高合同運動会、球技大会、ボランティア活動、文化発表会など、生徒会が積極的に取り組んでいる行事が多い。しかし、行事に意欲的に参加できない生徒の増加、活動の一体感が不足しているといった問題がある。 ・生徒の活躍する場面は多いが、生徒が学校では楽しいことや打ち込めることがあると答える生徒の割合が低い。(昨年度の3学期安全実態調査によると70名中「ある」が39名、「ない」が10名、「どちらともいえない」が21名) ・年間で一冊も本を読まない生徒が四割を超えており、生徒の読書離れが懸念されている。 ・図書館の蔵書冊数が他校に比べて少なく、十分とは言えない状況である。 	
達成目標	①学校行事、部活動、学校生活への満足度	②朝読書週間で一冊以上の本を読破する生徒の割合
	<ul style="list-style-type: none"> ・行事の満足度を5段階で調査し、総合が4.0を超える生徒が70%以上 ・学校に楽しいことや打ち込めることがあると答える生徒が95%以上 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎学期70%以上
方 策	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の自主性を生かした運営を重視して指導する。 ・多くの生徒が活動に参加、あるいは興味をもてるような計画づくりをする。 ・リーダー研修会や生徒議会などを通してリーダー性や積極性を育む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・朝読書週間を毎学期実施し、生徒全員が読書に取り組める機会を設ける。 ・「図書室だより」の発行や「購入図書調査」を通して委員会活動を活性化し、読書への関心を高める。 ・図書室と学級文庫の蔵書を充実させる。 ・図書の配置を工夫する。

(評価基準 A:達成した B:ほぼ達成した C:現状維持 D:現状より悪くなった)

平成30年度 南砺平高等学校アクションプラン - 5 -

重点項目	その他(地域・家庭との連携、生徒寮生活)	
重点課題	教育活動への理解を深める情報発信の強化	生徒寮生活の充実と家庭との連携
現 状	<ul style="list-style-type: none"> ・各種「たより」は定期的に発行されており、「学校だより」は12月と3月に平・上平地域全戸に配付し、広報活動を行っている。 ・各種「たより」は紙面であるため、保護者の手に渡らない可能性がある。また、特定者向けの情報となるため、情報発信先が狭い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・寮生による自治運営が浸透しており、規律正しい寮生活ができている。 ・学習時間の充実、あいさつの励行など課題もある。 ・寮生活の様子が保護者に十分伝わっておらず、課題解決に向けた協力体制が不十分である。
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> ①各種「たより」発行の継続とHPによる広報活動 ・(a)各種「たより」の年間発行回数 ・(b)HPでの情報発信による保護者の満足度 	<ul style="list-style-type: none"> ②寮生活の充実と家庭への連絡 ・「寮生だより」の発行回数
	<ul style="list-style-type: none"> ・(a)「学校だより」年3回、「生徒会だより」年6回、「保健だより」毎月、「図書だより」年3回、「学年だより」年3回、「給食だより」毎月 ・(b)HPに掲載された各種「たより」の保護者の満足度70%以上 	<ul style="list-style-type: none"> ・たよりの発行を年3回以上行って、寮生活の様子や課題を保護者に伝える。
方 策	<ul style="list-style-type: none"> ・各分掌や学年を中心に広報誌の内容の充実を図ると共に、発行回数の維持または増加に努める。 ・(毎月)HPを行事ごとに更新し、各種「たより」を掲載することで、本校の教育活動をより広範囲へタイムリーに伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・問題や協議事項が発生した時は、速やかに寮生会議を開き対応する。 ・たよりの他にも、家庭への連絡を寮生を通じて多く発信する。

(評価基準 A:達成した B:ほぼ達成した C:現状維持 D:現状より悪くなった)